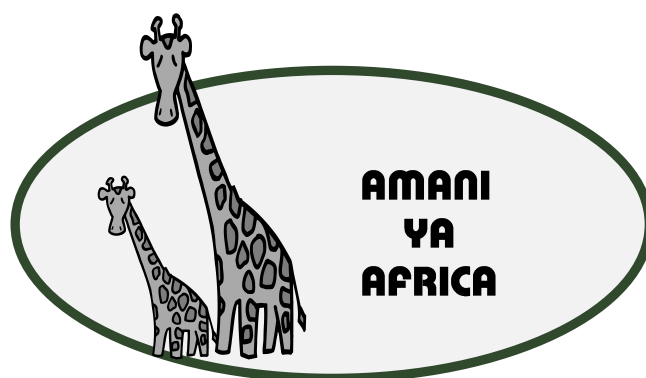


特定非営利活動法人 アマニ・ヤ・アフリカ

平成 25 年度活動報告書

(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)



あなたの想いをアフリカへ

手から手へ、あなたの想いが直接届く



ごあいさつ

小さな市民団体から始まったアマニ・ヤ・アフリカは今年で15年目、そしてNPO法人となり6年目を迎えました。

昨年末に前理事長の死去を受けて理事長が石原輝へと変わりましたが、前理事長の遺志を受け継ぎ、前理事長が思い描いていた夢に向かってスタッフ全員が力を合わせて新しいアマニ・ヤ・アフリカとして進んでおります。

昨年度（平成25年度）は日本側、ケニア側両方ともに忙しく、新しい出会い、成長がたくさんありました。特にケニア側は現地スタッフの成長が目覚ましく、マネジャー、先生、アシスタントが力を合わせて日本人スタッフ不在でも、いつも通りの運営ができるようにまで成長してきました。しかし、ケニアは隣国ソマリアとの関係悪化に伴い、国内情勢が不安定で治安の問題なども取り沙汰されています。

そんな中でもケニアの人々は強く明るく生きています。私達ができることは、何があっても彼らと同じ目線で、諦めずに進んで行く事だと思っています。

私達がケニアを変えることはできません。ケニアの貧富の差が縮まっていく事を願い、ケニアの人たちの、特に若者の力を引き出してあげるような、チャンスを与えられるような活動を今後とも続けて行きたいと強く思っております。

日本側は今年夏、現在事務所のある榴ヶ岡のNPOプラザを出て、新事務所に移転する予定でいます。今後益々活動の幅を広げて行く所存ですので、アマニ・ヤ・アフリカを今後ともご支援くださいます様、お願い申し上げます。



理事長 石原輝
スタッフ一同

★アマニ・ヤ・アフリカの活動理念

アマニ・ヤ・アフリカは 1998 年旅行でケニアのキベラ地区を訪れた 1 人の女性が、戦争難民のように国際的関心も集まらず、政府からは放置されて援助の手も届いていない、慢性的貧困にあえぐ人々とその子供たちとの出会い、そのような厳しい環境の中でも明るく逞しく生きる人々を何とか支援したいという、一途な想いで仙台から始まったアフリカとの交流支援団体です。Amani ya Africa とはスワヒリ語で、「アフリカの平和」を意味し、アフリカと日本の架け橋として、自然と人々との調和の取れた平和な世界を目指しています。

★アマニ・ヤ・アフリカの使命

世界に対して、国際協力に関する事業を行い、世界平和に寄与することを使命としております。特に日本及びアフリカでの活動を充実させ、社会的責任のもとアフリカの平和、そして平等な社会作りに貢献する活動を行います。

★活動理念

アフリカと日本を結ぶ架け橋として教育支援・経済的自立支援・文化交流を通して、共に生き、共に成長し合える活動をします。

★主な活動内容

教育支援・経済的自立支援・文化交流の 3 本柱です。

- ①Amani-Factory（職業訓練所）の運営（ケニア）
- ②スラム内の小学校支援（ケニア）
- ③フェアトレード事業（ケニア・日本）
- ④日本における啓蒙活動、アフリカ周知活動、イベントの開催（日本）

平成 25 年度総括

活動の核となるケニアでの活動はこれまでと変わらず順調でした。ティカ市の職業訓練所（アマニ・ファクトリー）の卒業生たちは、それぞれが家庭や個人的な問題を抱えながらも、我々が発注する洋裁の仕事に真面目に取り組んでくれています。ケニアでは職業訓練を受けたとしてもその仕事で食べて行く、その仕事の専門になる事はとても難しい環境ですが、当団体では卒業後のフォローを重視しているため彼らは安定的な収入を得ることができています。また活動内容に掲げているフェアトレードの推進についても、私達の様にフェアトレードを行うだけではなく生産者を育てる所から始めている団体は多くありません。その事を取ってみても、当団体の活動は、規模は小さいながらも、ティカの若者たちにとって十分夢を与えることができていると感じています。

キベラスラム内の小学校支援として学校設立から支援しているマゴソスクールは現在生徒数 500 人近くの大きな学校となりました。当団体では例年通りマゴソスクールで働く先生の給与

支援、高校に進学する生徒への学費支援を行いました。それに加えて最近マゴソスクールのマゴソファミリーとして運営のお手伝いもさせて頂いています。

一番の成果は、マゴソスクールの会長と教頭先生、卒業生 3 名が来日して全国の支援者の方々にこれまでの支援のお礼や彼らの生い立ちなどを話す日本ツアーに同行できた事です。この事によってマゴソスクールには新しい風が吹き始めました。来日した彼らの意識や決意が固いものとなり、日本で見て勉強したことをマゴソスクールの運営に活かしてくれています。

そして、学費支援した子供達も元気に勉強を続けており、その子供達が将来ケニアを、マゴソスクールを背負って立つ人材になってくれればと考えています。日本側の活動も例年通り、フェアトレードを紹介する活動をたくさんの場所で行いました。主にイベントでの物品販売ですが、製作者の顔が見え、アフリカ独特の色使いの商品達はお客様からも大好評です。

良いことばかりではなく、上手く行かない問題もありました。アマニ・ファクトリーの卒業生の一人の行方が分からない事や事務作業が遅れることもある等、改善する部分もたくさんあります。これらを踏まえて平成 26 年度はケニアでの活動のみならず、日本の事務局における組織強化にも取り組んでいきたいと思えます。

I, 平成 25 年度活動報告

事業報告

①海外事業に関する事項

A.アマニ・ファクトリー事業

実施日：平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日

実施場所：ケニア共和国 ティカ市 マコンゲニ地区

受益対象者：ケニア人スタッフ 4 名、卒業生 6 名、生徒 3 名

事業費：930,203 円

(ケニアスタッフ給料、交通費、通信費、事務費、支払い手数料、地代家賃、水道光熱費、修繕費、食費、材料費、設備費、雑費の合計 詳細は会計報告参照)

ケニアのティカ市で運営する洋裁の職業訓練所「アマニ・ファクトリー」は第 3 期目のコースが始まりました。第 1 期（2010 年）の卒業生は 3 名、第 2 期が 3 名、第 3 期は現在 3 名の生徒がトレーニングを受けています。



アマニ・ファクトリーの授業の様子



ケニア人スタッフ
左よりマイナ、オドンゴ、エティス、ムワンギ

特筆したいのは、第1期と第2期の卒業生がグループを作り、しっかりとアマニが日本で販売する商品を作って収入を得ている事です。そして、第1期卒業生の中からアマニのスタッフとして1名を雇用しました。洋裁の先生は1名であるため、その他にアシスタントが必要と感じての雇用です。アシスタントの仕事内容は、先生が忙しい時に代わりに授業を行ったり、卒業生グループをまとめる事。そしてその他さまざまな雑用をこなします。第3期で3名が卒業する事になると、合計9名の卒業生たちがグループとなって仕事をし、彼らで作ったグッズは日本各地で販売されていく事となります。

販売するグッズの質は数年前から比べると驚くほど向上していますが、まだまだ細かい点への配慮が足りません。今後、日本で販売を展開していく為に必要な細かい気配りができるようになることが今後の課題です。

ケニア人スタッフは現在4名を雇用しています。マネージャーは代表の石原がケニアに不在の時でもしっかりとアマニ・ファクトリーの管理をしてくれています。現在では、メールでのやり取りで日本から指示をマネージャーに伝え、それをしっかりと実行してくれています。この様な事ができるのもマネージャーの我々への信頼があるからだと思えます。

アマニ・ファクトリーの先生は一昨年の第2期終了後から第3期が始まるまでの間、先生としての仕事がなく不満そうでしたが、現在は第1期、第2期の経験を踏まえ、非常に効率の良い授業を展開しています。当団体が販売されている洋裁グッズ（衣類やバッグ、ポーチ類）は全てこの卒業生たちと先生が製作しています。商品の種類も増え、品質も向上しています。この先の課題は、ケニア国内でどれだけ仕事を取れるかという事です。

ケニア人スタッフは現在4名を雇用しています。マネージャーは代表の石原がケニアに不在の時でもしっかりとアマニ・ファクトリーの管理をしてくれています。現在では、メールでのやり取りで日本から指示をマネージャーに伝え、それをしっかりと実行してくれています。この様な事ができるのもマネージャーの我々への信頼があるからだと思えます。

B.教育支援事業

実施日： 平成25年4月1日～平成26年3月31日

実施場所： ケニア共和国 ナイロビ市 キベラ地区

受益対象者： マゴソスクール先生3名、奨学金受給者11名

事業費： 368,000円（先生給料支援金、奨学支援金の合計 詳細は会計報告を参照）

教育支援事業のメインは、ナイロビのキベラスラム内にあるマゴソスクールの運営支援と、マゴソスクールを卒業した生徒への高校進学費用の奨学金支援です。2001年に開校したマゴソスクールは年々その生徒数を増やしていき、幼稚園3学年、小学校8学年合計で400名以上の子供達が元気に勉強しています。そして、高校の学費支援をした子供達も今の所問題なく勉強を続けています。思春期の若者ですから、いろいろな問題が起こります。出身がスラムという事で差別されたり、スラムでの悪い誘惑もあります。そんな環境で生きている彼らが時々道を踏み

外しそうになる事は多々あるのですが、そのたびにミーティングなどを行って前を向かせてあげる。そんな家族の様な活動ができています。



キベラスラムの中のマゴソスクール。開校当初とは見違える姿になりました

そして昨年度はマゴソスクールに大きな動きがありました。一昨年、マゴソスクール創設者のリリアンと教頭先生のオギラが初来日しましたが、昨年はその二人に加えてマゴソスクールの卒業生3名（男子2名・女子1名）が来日し、全国の支援者の皆様の前で自分の生い立ちやマゴソスクールの事、ケニアの事などを詳しく話してくれました。マゴソスクールは全国に支援者がいますが、これまではケニアのマゴソスクールに直接行かなければ彼らの生の声

を聞く事はできませんでした。この様な事が実現できたのも、全国の支援者の皆様のお力のおかげだと思っています。

そして、昨年この3名が来日したおかげで大きな動きがありました。日本各地を回り、いろいろな施設や学校を見学させていただいている時に、日本の障がい者制度がケニアとまったく違う事に驚いておりました。それきっかけにしてマゴソスクールに障がい者学級を作る事となりました。そして日本の支援者のお力を借り、その為の校舎を既に完成させることが出来ました。その障がい者クラスの先生になりたいと言っていたマゴソスクール卒業生の2名（高校卒業後にマゴソスクールでボランティアをしていた）が、日本の大学の特別な計らいで、無償で日本に留学する運びとなり、今年5月に既に来日しています。続けていく事、それが一番の力です。何事も続けていれば、動いていれば必ず誰かの目に留まり、新しい展開が始まります。そんなことが実感できた一年でした。



アマニスタッフが給食の配膳をお手伝い

C.フェアトレード事業

実施日： 平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日

実施場所： ケニア共和国 ナイロビ市 キベラ地区、ダンドーラ地区
ティカ市 マコンゲニ地区等

受益対象者：アマニ・ファクトリーで働く者7名、取引先工場の労働者約20名、その他

事業費： 1,705,435 円（仕入、交通費、通信費、支払い手数料、運賃、材料費、雑費の合計 詳細は会計報告を参照）

アマニ・ファクトリーは先生が生徒に洋裁を教え、卒業生はその技術を生かして収入を得て家族を養っていくというのが目標です。昨年度はその目標がどんどん形になってきました。卒業生たち（6名）は当団体が販売するグッズバッグや衣類などのオーダーを受け、賃金をもらって働

いています。シングルマザーの女性、一人暮らしの男性、軽度の障害を持っているなどメンバーは様々ですがそれぞれが自分のできる仕事をこなして賃金を得ています。

その他、牛骨や針金とビーズを使って民芸品など作るスラムに住む職人さんたちとのフェアトレード活動も続いています。ケニアは今、物価上昇率が激しく、我々がこの活動を始めた15年前に比べると、物価は2倍から3倍に上がっています。2年前から見ても20%以上の物価上昇率となっており、特に家賃や輸入品の値上がりが激しく、ケニアで得られる仕事は賃金も安くとても家族全員が食べて行ける稼ぎにはなりません。スラム内では稼いだお金は全て家賃に消えると言った状況で、国民生活は困難な時代を迎えています。スラムに住む職人さんたちにとって、当団体は無くてはならない取引先となり、定期的に我々スタッフがキベラスラムに足を運んだり、工場長がティカまで足を運んで来ては新商品の開発を行ったりしています。

ケニアの国内状況を鑑みると、スラムから出て生活をするというのは数年前よりも格段に難しくなってきました。それでも明るく毎日を生きて行く彼らの力強さにも引っ張られ、この活動を続けて行っています。15年以上も関わっている彼等ですから気心も知れ、海外のスラムなどの取引現場でよくみられるような意思疎通の難しさや互いを理解する事の難しさはほとんどありません。

当団体ではケニアの物価状況や仕事の質・量に見合った工賃を払い、時には工賃を前払いしたりして彼らの生活をサポートしています。そこを理解する事が、一番の支援となるのだと思います。



フェアトレードの取引先 キベラスラムの骨工場長ルーカス（左）と針金細工職人のジョン（右）

昨年が一番の成果と言えるのは、やはりアマニ・ファクトリーの卒業生たちとのフェアトレードでしょう。若者がこのように仕事を得て家族を養っていく事が出来れば物乞いをするために路上に出て行ったりする子供も減っていく事に繋がると思います。

②国内事業に関する事項

D. イベント事業等

実施日：平成25年4月1日～平成26年3月31日

実施場所：日本各地の都道府県 主に宮城県、東京都

受益対象者：イベント参加者（販売参加イベントは来場されたお客様、アマニ主催イベントは入場者）

事業費：3,292,096円

(人件費、福利厚生費、売上原価、イベント事業費、会場費、旅費交通費、販売促進費、通信費、事務費、支払い手数料、租税公課、会議費、地代家賃、運賃、雑費合計 詳細は会計報告を参照)

日本での活動のメインはフェアトレードの周知活動、アフリカを紹介するイベントの開催です。フェアトレード周知活動とは、ケニアからの雑貨を販売しながらお客様にケニアやフェアトレードについてのお話をさせていただく事です。この様な買い物をしながらの国際協力を進めています。昨年度も精力的に全国各地でフェアトレード雑貨販売を行いました。地元の宮城県はもと



仙台でのマゴソOBOG来日イベント

より、マゴソスクールとの連携で全国を回るツアーを行い、日本のほぼすべての地方で販売を行いました。また、アマニが主催するイベントとして6月1日と11月2日に大きなイベントを行いました。当団体が長年支援しているマゴソスクールのOBOG達が来日し、彼らの生い立ちからスラムでの生活などを事細かに話してくれた事で、今まで以上にアフリカ、ケニアが身近になりそして日本との違いを感じてもらうことができたのではないかと思います。

11月2日のイベントは、10月に死去した前理事長の追悼イベントとして行われました。前理事長にゆかりのある方たちが大勢集まり、「僕たちがアフリカに行った理由」と言うタイトルでトークショーを行いました。前理事長がアマニを設立する前にはじめたこの「アフリカの風。大地の香り。」と言うイベントは16回を数えます。アマニの、マゴソスクールの支援の始まりとなったこのイベントは毎年続けて行こうと考えています。

販売参加イベント

- 4/20(土)一ノ蔵・蔵開放 場所：大崎市松山 主催者：(株)一ノ蔵酒造販売
- 4/27(土)メーデー宮城県大会 場所：錦町公園 主催者：連合宮城
- 4/28(日)もったいない市 場所：勾当台公園市民広場 主催者：ACT53
- 5/04(土)5(日)さいたま国際友好フェア
場所：市民の森見沼グリーンセンター 主催者：さいたま観光国際協会
- 5/11(土)12(日)アフリカンフェスタ 場所：横浜赤レンガ倉庫 主催者：外務省
- 5/23(日)アフリカンフェスタ in 長岡
場所：アオーレ長岡 主催者：アフリカンフェスタ長岡実行委員会
- 6/08(土)アマニカフェ松下テルミ〈講演〉場所 一番町 主催者：アマニカフェ
- 7/06(土)7(日) earth garden 場所：代々木公園
- 7 /7(日) グローカルフェスティバル
場所：秋田拠点センターALVE 主催者：グローカルフェスティバル実行委員会

- 7/13(土)クラフトナイト vol.6
場所：山形市七日町ほっとなる広場公園 主催者：七日町商店街振興組合
- 8/23(金)～25(日) 龍岩祭 場所：山形蔵王 主催者：龍岩祭実行委員会
- 8/31(土)宮城学院中・高校文化祭 場所：宮城学院中・高校
- 9/07(土)8(日) ジャズフェス・フリマ 場所：西公園 主催者：うさぎのフリマ
- 9/15(日)せんだい地球フェスタ
場所：仙台国際センター 主催者：せんだい地球フェスタ実行委員会
- 9/21(土)かかし祭 場所：上山市民公園 主催者：かみのやま観光物産協会
- 10/05(土)PHP 全国大会 場所：高岡 主催者：PHP おもいやり運動
- 10/5(土)～6(日) グローバルフェスタ
場所：日比谷公園 主催者：グローバルフェスタ実行委員会
- 10/13(日)源喜祭り 場所：天童市 主催者：源喜祭実行委員会
- 10/19(土)20(日) よこはま国際フェア
場所：横浜象の鼻公園 主催者：よこはま国際協力・国際交流プラットフォーム運動委員会
- 10/20(日) 太白区民祭り 場所：太白区役所前広場 主催者：仙台市太白区
- 10/26(土) ポレポレツアー 岐阜 場所 大垣市
- 10/26(土) 松山邑祭り 場所：大崎市松山酒ミュージアム 主催者：大崎市
- 11/09(土)多賀城国際交流センター[講演]
- 11/10(日)南陽手づくり市
場所：南陽市交流プラザ蔵楽 主催者：南陽手づくり市実行委員会
- 11/10 国際交流まつり in 亘理 場所：亘理町公民館 主催者：亘理町国際交流協会
- 11/16(土)NPO フォーラム 場所：みやぎNPO プラザ 主催：杜の伝言版ゆるる
- 12/07(土)たがさぼ雑貨市
場所：多賀城市市民サポートセンター 主催：多賀城市市民活動サポートセンター
- 12/14(土)フィリピン支援・チャリティーイベント
場所：仙台三越6Fギャラリーホール
- 12/15(日)Hiline Winter Fes
場所：CLUB-Junkbox 主催者：HilineWintre Fes 実行委員会
- 1/19(日)ミヤケン・プロジェクト 場所：大宮モラージュ 主催：Paint it! project
- 2/22(土)NPO 夜学〈講演〉 場所：みやぎNPO プラザ 主催者：杜の伝言板ゆるる
- 3/01(土)～2(日) ふれあい祭 〈展示〉
場所：仙台市中央市民センター 主催者：ふれあい祭り実行委員会
- 3/03(月)新春お茶会 場所：宮城第一信用金庫 主催者：宮信レディースクラブ
- 3/15(日)ソーシャルビジネスメッセ〈展示〉
場所：エルパーク仙台 主催者：ソーシャルビジネスネットワーク

アマニ・ヤ・アフリカ主催イベント

- ★5/21(金)～27(木) 短期ショップ 場所：みやぎNPOプラザ
- ★5/31(土)マゴソOBOG ツアー岡田西町公園仮設住宅 場所：岡田西町公園仮設住宅
- ★6/01(土)マゴソOBOG ツアー仙台 場所：福祉プラザ
- ★11/02(土)アフリカの風・大地の香り～僕たちアフリカに行った理由～場所：戦災復興記念館
- ★12/18(水)～25(水)短期ショップ 場所：みやぎNPOプラザ
- ★03/25(火)～30(日) 短期ショップ 場所：みやぎNPOプラザ

③運営に関する事項

A.定例総会

場所 仙台市宮城野区榴ヶ岡5番地 みやぎNPOプラザ会議室

日時 平成25年6月22日(土) 16:30～18:00

参加人数 43名(うち、委任状提出者37名)

議事内容

平成24年度活動報告と承認

平成24年度会計監査報告

平成25年度事業予算の承認

B.理事会

日時：平成25年6月9日 15:00～17:00

場所：みやぎNPOプラザオープン会議室

参加者6名

議事内容 定例総会に向けての準備、内容確認。その他運営体制に関して

C.会員

会員数 87名

正会員 86名

法人会員 1社

平成26年3月31日現在

D.役員

役員総数 5名(うち理事5名、監事2名)

代表者 石原輝(昨年12月に理事長に就任)



特定非営利活動法人アマニ・ヤ・アフリカ

〒983-0851

宮城県仙台市宮城野区榴ヶ岡 5 番地 みやぎNPOプラザ No.1 6

Tel: 090-2975-6946 Fax: 022-702-2574

E-mail: info@amani-ya.com ホームページ: amani-ya.com

Facebook: <http://www.facebook.com/amaniyaafrica>